

これからの100年に向けて

水道事業を取り巻く環境変化

— 施設の大量更新、気候変動、
— 人口減少社会の進展

水道事業を取り巻く環境は大きく変化しており、水道施設の多くが更新期を迎え、また、近年、気候変動に伴う災害が激甚化・頻発化していることへの対応も必要です。さらに、今後の人口減少社会を見据えた事業運営が求められています。

施設の強靱化

災害時でも水道水を安定して提供できるよう、浄水・配水施設の耐震化を全て完了。今後とも配水管の耐震管への取替えや水道施設の耐水化を進めていきます。



配水池への耐震壁設置



耐震管への計画的な取替え

安全でおいしい水道水プロジェクト

水道水をそのまま飲める国は日本含め世界で約10か国。福岡市では、国の水質基準等よりも厳しい目標設定により、安全性に加え、おいしさの向上を図り、市民の満足度を高める取組みを進めています。



水道水質センターでの測定



こども水道教室(令和元年度)

水道ICTの推進

ICT技術を積極的に活用し、業務の生産性・効率性を高め、施設の長寿命化・ライフサイクルコストの最適化を図るとともに、迅速で利便性の高い市民サービスの実現を目指します。

ポンプ設備の状態監視システム

- ① IoTセンサでポンプの振動値を自動計測
- ② 無線通信によりデータを自動送信
- ③ リアルタイム遠隔監視・振動データの蓄積・分析

③ 遠隔監視・分析

IoTセンサ (ポンプ設備) 無線通信 (事務所等)

IoTセンサを活用したポンプ設備点検

世界トップの低い漏水率2.0%

福岡市の漏水率の低さは世界トップ。これまで福岡市が磨き上げてきた水道技術を活かして、世界の国々のSDGsの達成につながる水の有効利用に貢献していきます。今後も、IoTセンサを活用した漏水調査など、更なる水の有効利用に向けた新たな取組みに果敢に挑戦していきます。



海外での技術協力